



ワールド・フレンドシップ・センター 創業者
バーバラ・レイノルズ

WFC つ・た・え・るプロジェクトは どんなことをするの？

WFCに関わった人たち、被爆者の方達の
思いを伝えていきます。

- ・月に1回(第2土曜日)集まり、どのような
ことを伝えていくのか、話し合い、取り組
みをすすめます。
- ・月に1回(第4土曜日)、WFC Hiroshima
をつ・た・え・る 基礎講座を開催します。
- ・平和のために活動されている他のグルー
プと交流し、どのように平和への思いを伝え
ておられるか学びます。
- ・平和公園の案内ができるように学びます。

あなたも Hiroshima の 願いをつたえる プロジェクトに 参加しませんか？

WFC って？

1965年、バーバラ・レイノルズさんと広島の人
によって、WFC(ワールド・フレンドシップ・センタ
ー)は設立されました。

被爆者に寄り添い、被爆者支援につとめ、広島を
訪れる人に、被爆者と出会う場を提供してきまし
た。

一人の人が一人の人に会う。

その出会いを通して生まれた、平和の思いは、今
も世界のどこかで生き続けています。

活動内容

つ・た・え・る プロジェクト、平和使節交換(アメリ
カ、韓国)、研修事業(被爆証言、平和公園ガイ
ド)、原爆養護老人ホーム「むつみ園」訪問、英会
話クラス、翻訳クラス、ピースセミナー(学習会)、
ピースクワイア、フレンドシップアフタヌーン、機関
誌「友愛」発行

連絡先

電話: 082-503-3191

メール: wfchiroshima@nifty.com

Web: <http://wfchiroshima.com>



WFC つ・た・え・る
プロジェクト

〒733-0032

広島市西区東観音町
8-10



WFC つ・た・え・る プロジェクト

ワーキングチーム
メンバー募集中！



WFC Hiroshima をつたえ・る 基礎講座
(第1期)の様子

W F C Hiroshima を つたえ・る 基礎講座って？

伝えるために知る。

私達は1945年 Hiroshima が
経験したことを知っているでしょう
か？

原爆が広島の人々に何をもたらしたのか、
そして、被爆者の方達は、その後の人生を
どのように生き、「もう二度と同じ思いを誰
にもして欲しくない」という願いに至ったの
か。

過去から未来へ。Hiroshima の原爆・核に
まつわる様々な出来事と人々の思いから、
何を伝えるか学びます。

第1期の講座では毎回どのような テーマを学んでいるのでしょうか？

- 第1回 バーバラさんの足跡を学ぶ
(森下弘さん WFC名誉理事長)
- 第2回 被爆の実相を学ぶ(畑口寛さん
広島平和記念資料館元館長)
- 第3回 被爆証言を聞く(岡田恵美子さん
WFC理事)
- 第4回 日本と戦争の関わりから学ぶ
ー軍都広島から考えてみるー
(多賀俊介さん 広島・ヒロシマ・広島を
歩いて考える会代表)
- 第5回 取材者から見たヒロシマ
(渡辺 茂美さん ジャーナリスト)
- 第6回 被爆証言を聞く(堀江壮さん)
- 第7回 ヒロシマの歩み
(ロン・クラインさん WFC理事)
- 第8回 原田東岷先生とWFCの活動
(車地かほりさん WFC理事)
- 第9回 平和公園ガイドの体験会
- 第10回 核と核兵器について
(田城明さん ヒロシマ平和メディアセン
ター・元センター長/特別編集委員)
- 第11回 原発について(木原省治さん)
- 第12回 Hiroshima を伝える意味 まとめ

私もまた被爆者です

バーバラ・レイノルズ



ヒロシマのフェニックス号

バーバラさんは、家族とともに、1958年、
南太平洋の水爆実験水域に、ヨットで入り
核実験に抗議しました。

基礎講座(第2期)がスタート

ワーキングチームでは第2期の基礎講
座(2018年9月開始)の準備に入っ
ています。第2期の講座では、第1期で取
り上げたテーマを発展させ、深めていき
ます。

第2期のテーマ(予定):

在日韓国・朝鮮人被爆者の方の証言を
聞く、フィールドワーク、原爆投下以前
の廣島の街と人々の生活、占領下の平
和活動、ABCCとRERF(放影研見
学)、被爆者支援にあたった人々、反核
運動の歴史、ヒロシマは海外にどのよ
うに伝えられたか、世界平和巡礼、平
和公園内の碑についての学びなど。

受講希望の方はお問い合わせください。